

法人(事業所)理念		共育:人・自然・動物等との関りや体験を共に行うことで共に気づきあい、共に育っていけるように支援いたします。		
支援方針		・好きなこと、得意なことを見つけ伸ばしていく。 ・他児とコミュニケーションをとり、相手の気持ちや自分の気持ちを伝えられるようになる。 ・社会に出るための善悪の判断や最低限のマナーを理解し、誰かのために行動できる人になる。 ・集団での社会性を身につける。 ・災害時の生活スキルなどを身に着ける。		
営業時間		平日:9時30分～18時30分 祝・長期休暇中:9時30分～18時30分 (閉所日:8月13～15日・12月29～1月3日)	送迎実施の有無	○ なし
		支援内容		
本人支援	健康・生活	連絡アプリを活用した利用児の健康状態の把握、来所時及び活動中の心身の状況の観察 利用児の発達段階・発達課題に合わせた自己理解促進のためのプログラム 物の配置や目印などを利用した空間の構造化、及びスケジュール表などを用いた時間や課題の構造化 やりたい活動を活動を自己選択する機会を通じたセルフマネジメントスキルの獲得支援、身辺自立(手指分離運動の実施・スプーンからお箸への移行・更衣・排泄・整理整頓等) 食育(栄養素の認識や調理器具の使い方) マナー(挨拶・感謝謝罪の言葉・時制に応じた言動や行動・TP0をわきまえた行動等)の獲得支援		
	運動・感覚	基礎感覚の獲得(前庭覚・固有覚・触覚) ビジョントレーニング(点つなぎ・プロジェクターを使った遊び・眼球跳躍運動等)ボディイメー ジの形成(協調性・集中力・力加減・バランス感覚等) 複合的な関節運動 粗大運動・微細運動(柔軟性・筋力や体力の向上・集団遊び・ルールのある遊び・手先の巧緻性 等)		
	認知・行動	概念理解(物の機能や属性・色・形・時間・大小・数・時間等)獲得のための様々な遊びを通した活動や認知課題の設定 利用児ごとの認知処理特性を踏まえた活動・学習環境の調整、及び学習方略・対処法を含めた自己理解の促進支援 不適切な行動を予防するための環境調整、及び代替手段獲得のための支援		
	言語 コミュニケーション	概念理解(物の機能や属性・色・形・時間・大小・数・時間等)状況把握 空間認知(パズル・スケッチ・ブロック・折り紙等) 自己認知・他者認知・危機管理能力・善悪の理解・感情の理解や表出(SST)の支援		
	人間関係 社会性	子ども同士の関係づくりと集団参加 社会参加(外出レク等での公共の場でのマナーの理解) 他者理解・自己理解(SST) 感情の理解や表出(SST・気持ちの切り換え・勝ち負け など)の支援		
家族支援		本児の特性・発達の状況を理解し、よりよい発達に向けて相談援助を行なう。必要に応じて、今後 起こりうる困りごとや、進路相談、発達に応じた支援などの相談援助を行っていく。	移行支援	移行先の選択についての本人や家族への相談援助や移行に向けての準備をする。事業所以外での生活の場や、就学にむけての相談援助や、移行支援を行う。
地域支援・地域連携		学校等との情報交換や相談援助、地域の福祉施設・医療機関等との連携、また地域の交流会に参加する。地域のお店に協力をいただき職業体験の機会など	職員の質の向上	年間研修計画に沿った研修の実施、配属時の初任者研修および職能別コースごとのスキルアップ研修、支援に関わる知識技能に関する 各種e-learningコンテンツなど、
主な行事等		スヌーズレン・動物介在活動・お花見・ひな祭り・水遊び(プール)・運動会・ハロウィンパーティ・書き初め・餅つき大会・流しそうめん・クリスマスパーティー・調理レク・誕生日会・映画上映・カラオケ大会・段ボール工作・夏祭り・地域の祭り・外出レク(大型公園、町探検、山菜取りなど)・まき割り体験、アウトドア体験 (防災時に活用できる調理など)		